

## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道192号 <small>とくしまみなみかんじょう</small> 徳島南環状道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：徳島県徳島市国府町観音寺 至：徳島県徳島市八万町大野	延長	9.5 km		
<b>事業概要</b> 一般国道192号徳島南環状道路は地域高規格道路徳島環状道路の一環として計画された事業であり、徳島市中心部の通過交通を排除するとともに、市街地流入交通の迂回・分散を図ることを目的としている。当該道路の整備により、慢性的な徳島市内の渋滞を解消し、地域の活性化に大きく寄与するものである。					
S61年度 事業化	S60年度 都市計画決定 (H16年度変更)	H元年度 用地着手	H7年度 工事着手		
全体事業費	1,141 億円	事業進捗率	25 %	供用済延長	2.6 km
計画交通量	30,200 ~ 47,100 台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)4.6 (残事業)7.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 609/1,009億円 事業費：570/970億円 維持管理費：39/39億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 4,665/4,665億円 走行時間短縮便益：4,403/4,403億円 走行経費減少便益：218/218億円 交通事故減少便益：45/45億円	基準年 平成17年	
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（周辺地域の渋滞損失削減時間が11,032千人時間/年[削減率：46.1%]） ・都市の再生（広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 他16項目に該当					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・本事業の推進にあたっては、徳島環状道路建設促進期成同盟会をはじめ、周辺の自治体などから積極的な要望活動が続けられている。					
<b>事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等</b> ・平成12年8月に徳島北環状線が全線、平成15年7月に徳島東環状線の安宅・住吉地区が暫定供用している。 ・平成12年3月に四国縦貫自動車道の徳島～川之江東間、平成15年3月に四国横断道の高松西～鳴門間が供用開始している。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・用地買収・工事を推進し、平成20年代前半には暫定供用予定である。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・新技術新工法の積極的活用によるコスト縮減、環境に配慮した設計を図っている。					
対応方針	事業継続				
対応方針の決定理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。				
事業概要図					

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。